



あなたのそばに もっと身近に 盛岡信用金庫

おかげさまで
創立115周年
 創業明治36年（1930年）1月19日

明治36年（1903年）の創業以来、115年の永きにわたり協同組織金融機関として「共存同栄」（お互いに助け合い、発展していくこと）の精神のもと、一貫して「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念に歩んでまいりました。

紫波企業の森づくり

「もりしん共存同栄の森」森林環境保全活動

「共存同栄」とは、新渡戸稲造先生が当金庫総代会に寄せた祝電などで好んで使った言葉であり、また、当金庫の経営方針である「共にあって同じく栄える」という指針に沿った活動であることから命名いたしました。

活動履歴

平成23年度 協定締結



森林整備を行うことにより、水源涵養やCO₂削減等の森林の公益的機能向上を目的として、平成23年11月24日「紫波企業の森づくり」活動の協定を締結しました。

平成24年度 第1回 参加人数110名



第1回目の活動では、山道に設置した「もりしん共存同栄の森」立て看板の除幕式を執り行いました。

間伐材等の運搬作業終了後は、浅沼専務理事（当時：常勤理事 営業推進部長）の案内により、ラ・フランス温泉館に導入されたチップボイラー、太陽光発電設備、太陽熱利用給湯設備等の施設見学会を実施しました。

平成25年度 第2回 参加人数114名



第2回目の活動では、間伐材等の運搬作業の他、職員から数名を選抜し、伐採体験を実施しました。

平成26年度 第3回 参加人数101名



第3回目は、間伐材等の運搬作業と併せ木工教室を開催しました。東根山で採取したどんぐりの実、まつぼっくり、廃材等を使用して、職員の家族が思い思いの作品を製作しました。

平成26年度 紫波の森づくりフォーラム2015へ参加



「紫波企業の森協定」を締結している9企業・団体他がブース出展し、来場者に対し活動内容をPRしました。
 於：紫波町情報交流館市民交流ステージ

平成27年度 第4回 参加人数106人



第4回目は、予定していた場所で間伐材等の運搬作業が早く終了したので、沢を下りた場所へ移動して作業を継続しました。

平成28年度 第5回 参加人数110名



第5回目は、間伐材等の運搬作業終了後に、30m以上にもなる巨木の伐採作業を見学しました。

平成29年度 第6回 参加人数128名

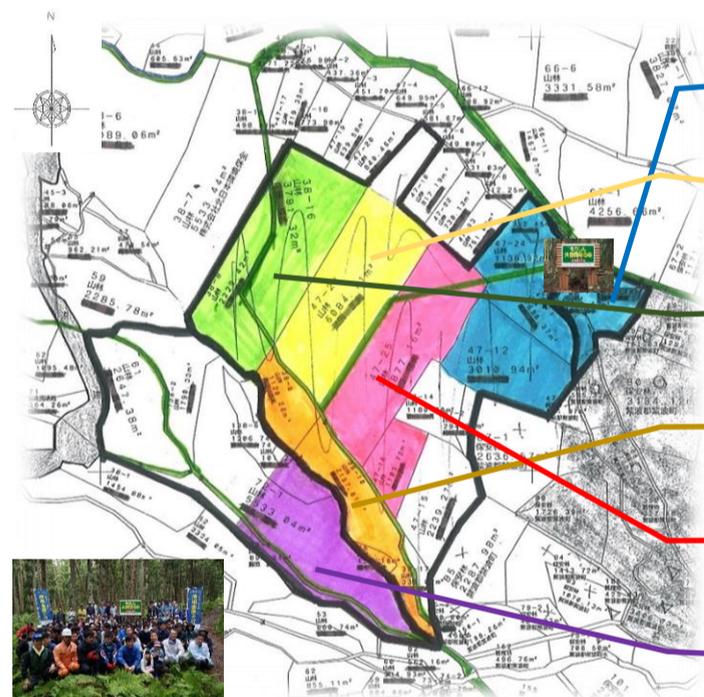


第6回目は、間伐材等の運搬作業を、新たな区画と平成25、26年度に活動した区画にて実施しました。

活動概要

盛岡信用金庫（理事長 佐藤 利久）は、地域貢献活動の一環として、森林整備を行うことにより二酸化炭素吸収、水源涵養、土砂流出防止等、森林の公益的機能の向上に寄与することを目的に、平成23年11月に紫波町、地権者15名の皆さま、NPO法人紫波みらい研究所と共に「紫波企業の森づくり」に関する協定を締結しました。また、毎年6月15日の「信用金庫の日」にちなんだ事業として、環境教育の場としても活用し、職員の環境に対する意識も高まっており、金庫創業以来の「共存同栄」という経営理念の意義を再確認する活動にもなっています。

活動実績



- ①平成24年度 第1回
間伐面積0.8ha
CO₂吸収量7.8t-CO₂/年
- ②平成25年度 第2回
間伐面積0.535ha
CO₂吸収量5.22t-CO₂/年※
- ③平成26年度 第3回
間伐面積0.602ha
CO₂吸収量5.87t-CO₂/年※
- ④平成27年度 第4回
間伐面積0.376ha
CO₂吸収量3.67t-CO₂/年※
- ⑤平成28年度 第5回
間伐面積0.598ha
CO₂吸収量5.83t-CO₂/年※
- ⑥平成29年度 第6回
間伐面積1.8ha
CO₂吸収量17.55t-CO₂/年※

○活動場所は、ラ・フランス温泉館西側の山林4.5haの民有林です。
 ○年1回実施し、間伐材等を林道へ搬出する運搬が主な作業です。過去6回に亘る活動において、延べ669人の役職員とその家族が、約4.7ha（東京ドーム1個分）の面積を整備し、約45.94t-CO₂/年のCO₂吸収に寄与しました。



○間伐により発生した木材は、木質チップとして再資源化することにより、地域資源の有効利用に繋げ、紫波町の木質燃料供給態勢確立へ向けた支援事業として、平成24年から平成39年迄の15年余りわたり実施します。



企業の森づくりCO₂吸収認定書



岩手県が企業の森づくり活動によるCO₂吸収量を評価・認定する、「岩手県企業の森づくりCO₂吸収量認定制度」に基づき、当金庫は、第1回目の活動後、NPO法人紫波みらい研究所を通じ岩手県に申請し、平成24年12月27日付で認定書が交付されました。

※岩手県が発行する認定書は、1企業・団体に付き1回だけ交付する制度となっています。
 「活動場所」に記載した、平成25年度から平成28年度におけるCO₂吸収量は、平成24年度に認定された数値を基に、参考数値として記載しています。



あなたのそばに もっと身近に

盛岡信用金庫

おかげさまで

創立115周年

創業明治36年（1930年）1月19日

地域密着型金融の取組み



事業支援・事業再生支援

中小企業の経営支援に関する取組み

当金庫は「もりおか起業ファンド」の投資や、岩手県信用保証協会の制度融資、日本政策金融公庫との協調融資等により、起業・創業支援に積極的に取り組んでいます。

平成29年度は、重点支援対象先として30先を選定し、営業店と本部が連携して経営改善に努めているほか、岩手県中小企業再生支援協議会等の外部支援機関と連携して、経営改善計画書の策定支援や事業再生のアドバイスを行うなど、より実効性の高い支援に取り組んでいます。

事業経営戦略の一助として、一般社団法人岩手県発明協会から講師を迎え、「経営における知的財産活用セミナー」と題して講演会を開催しています。

経営者保証に関するガイドライン研究会が公表した「経営者保証に関するガイドライン」に基づいて、経営者の保証を免除する、または経営に関与しない第三者の方の保証は求めない等の対応に努めています。今後もガイドラインの趣旨を踏まえ、適切に対応すると共に、担保や保証に過度に依存することなく、企業価値や将来性を重視した融資に積極的に取り組んでまいります。

経営支援力の向上

お客さまの事業性評価を適切に行うために、独立行政法人中小企業基盤整備機構から講師を招き、平成29年度は「事業性評価」についてのインターバル研修を行いました。

また、事業再生支援や目利き力等のコンサルティング機能の発揮に向けて、岩手県中小企業再生支援協議会や信金中央金庫から講師を招き、継続的に研修会を行っています。



ビジネスマッチング・販路拡大支援



「ビジネスマッチ東北」をはじめとして、信用金庫のネットワークを活用し、首都圏の信用金庫が主催するビジネスフェア、物産展に多くのお取引先企業を推薦し、県外に向けて販路拡大の支援をしています。

今後もビジネスマッチングを通じて、地域の商品力、技術力の情報発信に努め、ビジネスチャンスに繋がるようお取引先企業の発展に貢献してまいります。

よろず支援拠点との連携



全国初の取組みとして、事業の悩み・課題解決の一助を目的に、平成26年12月から「岩手県よろず支援拠点」との合同相談会を開催しています。

地域活性化への取組み

地方創生に向けた取組み



地域経済の発展と地方創生の推進等を目的に、3市1町と連携協定を締結している他、東北銀行と包括業務連携に関する協定を締結しています。

観光招致活動



東日本大震災により甚大な影響を受けた観光産業を支援するため、トップセールスにより首都圏や東海地区の信用金庫を訪問し、団体旅行の招致に取り組んでいます。

もりおか起業ファンド



平成24年8月「もりおか起業ファンド」を設立し、盛岡市、滝沢市、矢巾町、紫波町ならびにフューチャーベンチャーキャピタル(株)と共同で起業支援および投資先の経営支援に取り組んでいます。起業を志す方を資金と経営の両面で支援し、起業時の課題に対応しています。

環境保全への取組み

「八幡平松尾鉦山跡地」森林再生活動



平成20年度より八幡平松尾鉦山跡地に「友情の森」と名付け、森林再生活動に取り組んでいます。

「紫波企業の森づくり」森林環境保全活動



紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環で、平成24年から平成39年までの15年余にわたり実施します。

「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化への支援



公共施設屋根借り太陽光発電事業の資金調達を担う「紫波ゆめあかりファンド」を通じ、地域における自立分散型エネルギー事業の普及を支援しています。

地域貢献活動

東日本大震災復興支援プロジェクト 「東北・夢の桜街道」運動



“桜”を東北復興のシンボルに掲げ、「桜の札所・八十八ヶ所、番外編二十ヶ所」として選定された東北6県の桜の名所を、東北復興への祈りを捧げながら巡る観光スキームです。
桜の札所五十八番「紫波城山公園」

「東北・夢の桜街道」運動 「桜の札所・絵画コンクール」



「桜の札所・絵画コンクール」を実施しています。第5回目となった平成29年度は841作品の応募がありました。

岩手県学童軟式野球選手権大会 “もりしんカップ”



スポーツ大会への後援・協賛を通じて地域振興に取り組んでいます。当金庫は、平成26年度から岩手県学童軟式野球選手権大会に特別協賛企業として参画し“もりしんカップ”として開催を応援しています。

もりしんマネースクール（出前授業）



地域の小学校を訪問し「お金の使い方や金融機関の仕事」について学んでもらう事を目的にマネースクールを開催しています。

もりしん職場体験学習



地域の小中学校を対象とした「職場体験」や「職場訪問」を受け入れ、基本業務等を説明する他、営業店業務の見学等を実施しています。

文化事業の開催



文化事業への後援・協賛を通じて地域振興に取り組んでいます。平成29年度は、もりしんスペシャル「ロートレックとベル・エポックの巴里ー1900年」へ特別協賛しました。